



海釣り GO!!

漁業者と釣人が共存する、 持続可能な釣りレジャーの実現

日本初、漁港の釣り場予約サービス「海釣りGO」

UMIGO

私達の「願い」

日本は海に囲まれた島国で、古来より人々の生活と密接に関わってきました。かけがえない宝である海の環境が、近年、劇的に変化してきています。私たち株式会社ウミゴーは、豊かな海と人々の笑顔を思い浮かべ、結成しました。デジタル×デザインのチカラで、海と漁港・漁村を舞台に、地域の方々と連携しながら課題を解決し、未来につなげていきます。

漁業側から見れば、海の環境や温暖化などによる漁獲量の減少、漁師の高齢化や後継者不足など、さまざまな問題に直面しています。漁港の整備や管理にも目を配らなければなりません。全国的に同じような課題を抱えつつ、地域によって事情も異なります。

海のレジャーを楽しみたい市民目線では、釣り場の開放や安全にビーチ遊びできることを望む人も多いでしょう。両者にとって、さらには地域にとって、願いを実現していける方法がきっとあるはず。現状を理解し、現場の声に耳を傾け、最善策を共に考えていきたい。

最初に取り組んだ事業が「海釣りGO」です。釣り人によるゴミ問題などにより、漁協が管理する漁港を釣り場として利用できなくなった場所を、デジタル技術を駆使して再開放することに成功しました。アプリを利用することで、釣り場や駐車場の予約を容易にし、利用者の利便性を高めるだけでなく、漁業関係者にとっても漁港整備資金の確保や管理効率の向上を実現しました。デジタル技術を用いながらも、人と人とが協力して快適な釣り環境を生み出し、温かみのある空間となっています。

デジタル技術と物語性を融合させ、地域社会とともに未来の海を創り出す。それが、私たちの願いです。



株式会社ウミゴー

静岡県賀茂郡西伊豆町宇久須
389番地の1サンハイム西伊豆1F

設立：2024年2月

代表：國村大喜



UMIGO

目次

1. 社会課題
2. 新しいアイデア
3. 海釣りGOの誕生
4. デザイン
5. 導入がもたらすもの
6. プロダクト
7. 評価
8. 実績
9. エコシステム
10. 展望

全国的に、釣人と漁業者のトラブルにより釣り禁止になる港が増えていきます。根底には、釣りレジャーの社会構造に課題がありました。

きっかけ

2022年7月、西伊豆町の田子漁港が釣り禁止に

釣り人が置き竿しており、釣り糸が船に引きずられてしまうトラブルが発生し、釣りが禁止になりました。同様のトラブルは全国で起こっています。



釣りレジャーの社会構造

	釣人（岸釣り）	釣人（持ち船）	釣人（遊漁・渡船）
釣り場維持管理コスト ゴミ捨て、清掃、駐車場、施設管理	支払いなし	間接的に支払い マリナー代支払	間接的に支払い 船宿支払
水産資源維持コスト 種苗放流、産卵床設置	支払いなし	間接的に支払い マリナー代支払	間接的に支払い 船宿支払→組合員費
釣りルールの周知 漁獲制限、禁漁期間、立入禁止区域	指導されず	指導されず	指導あり

特に岸釣りは、ごみ問題・違法駐車など、漁協や地元が負担がかかり持続可能とは言えません

新しいアイデアで、釣り場問題を根本解決

目指したのはデジタル技術を用いた「プチ海釣り公園」。従来発想とは異なる新しいアイデアで、釣り場問題の根本を解決しました。



1. アプリと法整備の合せ技

釣人を漁港利用者の一員に

釣人は無料、漁業者や地元のみ負担を負う仕組みが元凶でした。本来漁港は業務利用時は費用が発生します。今回、アプリを用いることで、釣人は時間に応じた利用料を拠出し、資源管理や設備維持に貢献できる仕組みを構築。条例も改正し堂々と釣りができる世界を作りました。



2. 港の機能を維持

漁港機能を失わない解決策

従来の「海釣り施設化」は釣り専用区を設定し、ゲートや柵の設置が伴うものでした。しかしながら釣り専用区域の合意がまず困難で、施工により、荷揚げができる・出入り自由等の漁港機能が損なわれます。海釣りGOでは、釣りエリアをプレート貼付とGPSで管理。岸壁の用途変更に対応します。



3. 地域経済への貢献

釣りを地方創生・海業振興へ

現地の案内や美化活動など人でなくては出来ない部分を現場巡視員が担い、決済や受付をソフトウェアが担うメリハリあるシステムが海釣りGOの強みです。巡視は漁港施設の継続的な美化が実現するだけでなく、地元雇用も創出。巡視員と釣人のコミュニケーションは地域紹介につながり、観光の窓口となります。

海釣りGOの誕生

大切な釣り場を守る仕組み、海釣りGO。

みんなが使う港だから、ルールを守って持続可能な「いい釣り」を。

個人の裁量に任されていたこれまでの海釣りに対し、釣り人を責任ある漁港利用者として位置付け、適切なルールのもとで適正な利用料金を漁港管理者に届けることのできる、日本初の漁港の釣り場予約アプリが誕生しました。

田子漁港の釣り禁止から約1年のスピード開発。閉鎖された釣り場は戻ってこないという通例を覆しました。



海釣りGOのデザイン

和やかな空間・優しい体験を作り出す、想いのこもったデザイン。

海釣りGOの強みは、デジタル技術を用いながらも快適で温かみのある空間を作り出すところ。キャラクターのニャーゴを始めとする想いのこもったデザインは、来訪者を優しく楽しい体験へと이지ないます。



海釣りGOの導入がもたらすもの

釣り場に関わる不平等を解消し、持続可能な釣り場を作り出します。



釣り人は厄介者

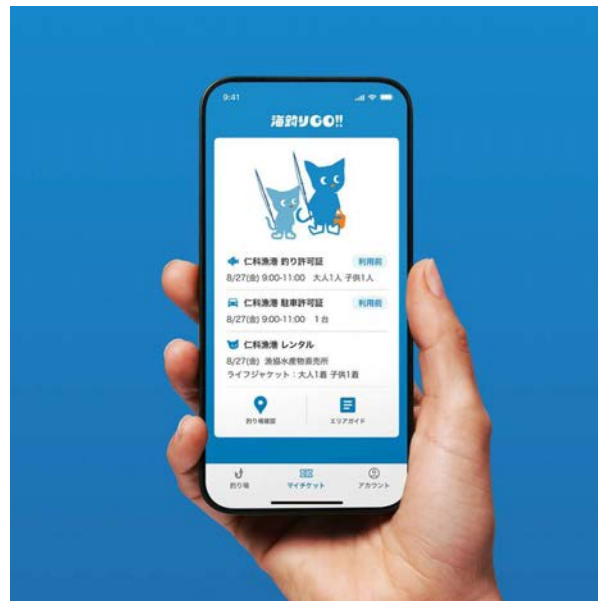
ルールが無く、無法地帯。地元だけに負担が集中。

釣り人を漁港利用者の一員に

釣り場利用とともに、費用負担と義務を負う。

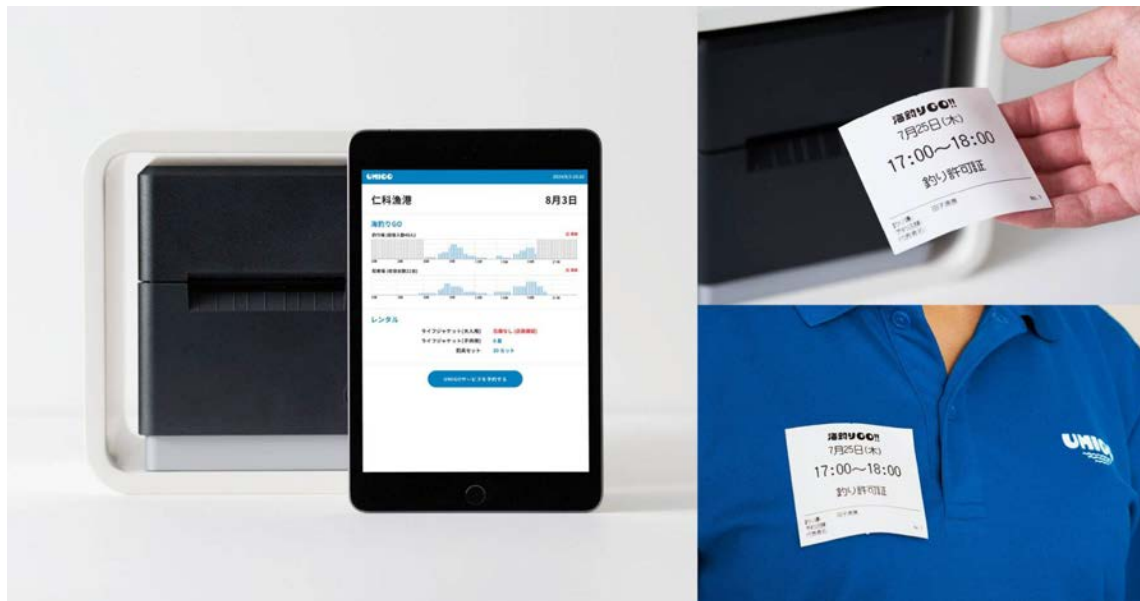
海釣りGOのプロダクト

スマホがなくてもOK。誰もがアクセスできるシステムを構築。



アプリ「海釣りGO」

日本初、漁港の釣り場予約アプリ。



現場予約端末「UMIGOターミナル」

サービス利用を現地で気軽に。レジ連携し、現金決済で釣り場を予約。

海釣りGOの評価

地域の理解を取り付け、真正面から釣り場開放を行った海釣りGOは、高い支持を得ています。

SNS等を通した強い支持の声

 **サボテン @celsuper2** · 2023年6月28日 ...
海釣りGOアプリの導入めっちゃ良いな
コロナ禍からしばらく海釣りから遠ざかってたけどこれを機に再開したい
沼津市内の漁港これで全部復活させてくれ

 **へち野郎SEASON2 @hechi_yarou_2** · 2023年11月5日 ...
西伊豆町の海釣りGOってシステム良いな
来年の旅行は西伊豆だな

 **Shindo Tenro @tenro0608** · 2023年6月29日 ...
これ日本全国に広がって欲しい！
すごく良いモデルだと思いました！

 **モカmama_fishing @mocha_fishing** · 2023年7月9日 ...
これは良い取り組みだね。
もっと広まって欲しい。

 **サカイ オツヒト @otuhito_pics** · 2023年8月13日 ...
海釣りGO、釣り可能と禁止がわかりやすく、巡回の人も丁寧で優しい。駐車場も確実に使えるのが保証されてる。

今は釣り禁止の港も、こうやって改めて釣りができるようになってくるといいな。

GOOD DESIGN AWARD受賞



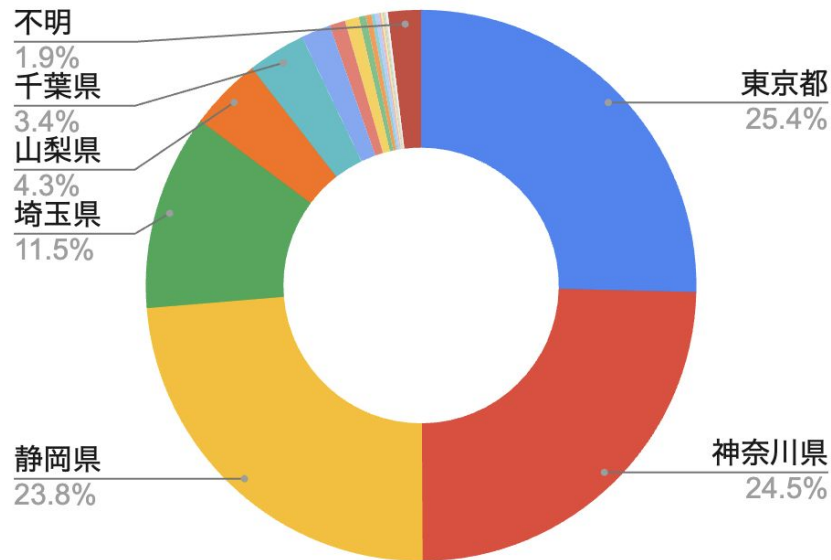
審査員コメント

アプリにより釣りエリアの制御、釣り場人数の管理など、漁港における釣り人と漁業関係者のトラブルを解消し、低コストで漁港を海釣り施設化するサービスデザインが評価された。今後、同様の取り組みが他の漁港・自治体にも広がることが期待される。

増える利用者。収益金を活用し漁港環境が順次整備されています。

13ヶ月の利用者数 (2023/7/31~2024/8/31)

のべ **6,450人**



収益金を活用した設備投資の実現

救命はしご設置、AED設備の更新、休憩所設置、水道設置…



田子漁協では、一部に収益金も活用しつつ漁港設備の改良・追加を実施しました。海釣りGOをきっかけとし、それぞれの釣人が漁港の維持管理に参画する。サービスの理念が、一步一步着実に実現していています。

海釣りGOの好循環は、周辺環境を改善し、経済波及効果を生み出します。

「釣り場維持管理」
起点の経済波及

海底清掃

漁礁設置

稚魚放流

安全設備導入

:



漁港・港湾の管理者

フィールド（釣り場）

利用料金

海釣り
GO!!



利用者（釣り人）

各種 釣り場維持管理施策

「賑い・観光」
起点の経済波及

地区イベント

小売・外食

宿泊施設

他の観光事業

:

魚が増え、港がきれいになり、地域が発展

拡がる海釣りGO

田子漁港に続き、仁科漁港もオープン。
静岡県西伊豆町から、日本の漁村を変えていきます。



海釣りGO 田子漁港

20mを超える水深。海釣りGO始まりの漁港
(2023.7.31 サービスイン | 釣り場30名、車26台)



海釣りGO 仁科漁港

釣りも食事も温泉も。西伊豆の海を満喫。
(2024.8.3 サービスイン | 釣り場36名、車26台)



海釣りGO公式ホームページ

最新釣果、アプリダウンロードはこちら



ABEMA Morning

海釣りGO特集番組



株式会社ウミゴー

海を舞台に、人々が心豊かに過ごし、地域が笑顔になる社会を実現するため、漁港の活性化、地域経済の活性化、人材の流出といった海のある地域が抱える課題に、デザインとデジタル技術を用いて解決策を導きます。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：info@umigo.co.jp

代表直通：國村大喜 09087914325 hiroki@umigo.co.jp